

## 黒江小学校の歩み

### ◇主な歴史

- ・明治 9年・・・黒江村728番地（現 紀陽銀行前）に64坪の校舎で  
黒江尋常小学校創立〔9月9日〕 職員3名 児童約100名  
その後・・・校舎を船尾225番地(現 漆器会館)に移す。
- ・明治28年・・・黒江尋常小学校を黒江尋常高等小学校とする。
- ・明治42年・・・船尾236-4(現在地)に改築移転する。
- ・大正12年・・・講堂を建築する。このころ校歌ができる。
- ・昭和 9年・・・海南市誕生（黒江町、日方町、内海町、大野村が合併）  
海南市黒江小学校と改称
  - ・16年・・・海南市黒江国民学校と改称
  - ・22年・・・海南市立黒江小学校と改称 育友会発足 給食が始まる
  - ・26年・・・南校舎新築（木造2階16教室） 県給食優良校として表彰される。
  - ・30年・・・海南市合併（北野上村、中野上村、南野上村、亀川村、巽村を海南市に編入）
  - ・36年・・・プールができる。鉄筋校舎を造る。
  - ・37年・・・健康優良校県一を受賞
  - ・41年・・・日本一健康優良校となる。
  - ・42年・・・全日本健康教育大会を開く。健康優良学校受賞顕彰碑が完成
  - ・46年・・・鉄筋校舎新築
  - ・47年・・・全国安全教育研究発表大会を開催する。
  - ・51年・・・創立100周年記念として郷土資料館を開館する。
  - ・53年・・・今の体育館ができる。
  - ・54年・・・今の東館ができる。
  - ・58年・・・今の幼稚園棟ができる。川端龍子賞を受ける。
- ・平成 9年・・・正門「けんこうの塔」を改修する。
  - ・16年・・・新調理場完成 三拠点方式の給食が始まる。
  - ・20年・・・海南市体力向上指定校事業研究発表会を開催する。
  - ・25年・・・新校舎が完成する。平成25年1月から使用。

### ◇児童数について

明治19年	285名	大正 8年	1450名
昭和14年)	1508名	昭和34年	1644名
平成 元年)	684名	平成11年	343名
平成16年	366名	平成27年	216名

◇ 校 歌（作詞 岩橋貞吉 作曲 澤崎定之 大正12年ごろ制定）

- |  |  |
|--|--|
| 一 琴の浦波音清き<br>調べ聞きつつ真心の<br>玉の光を磨かんと<br>いそしむ窓こそ<br>たのしけれ | 二 藤白山の峯高き<br>姿仰ぎて塗物の<br>里のほまれを高めんと<br>学ぶ庭こそ<br>うれしけれ |
|--|--|

◎黒江小学校創立当時の校訓・・・「誠意・勤勉」が校歌に歌われています。

運動会の歌・・・黒江小学校のオリジナルな歌だそうです。

- |   |  |
|---|--|
| 一 空はあかるい青空だ<br>心もかるくはればれと<br>とおさんかあさんわたしたち<br>みんなにこにこわらってる<br>はしれ、おどれ、元気よく<br>きょうはうれしい運動会 | 二 風はそよそよすずしいな<br>空はゆうやけあかい顔<br>にいさんねえさんわたしたち<br>みんな元気にやりました<br>ダンス、リレー、つなひきも<br>きょうは楽しくすみました |
|---|--|

◇黒江の教育

- (1) 給食教育・・・昭和32年 文部大臣表彰を受ける。  
(2) 健康教育・・・昭和36年・39年 健康優良校 県一  
昭和41年 健康優良校 日本一

保健体育を中軸として健康教育に取り組む。 児童の実態（疾病・体格・生活） 鉄棒運動 業間運動 乾布摩擦 くろえ体操 保健委員会活動 健康観察
--

- (3) 安全教育・・・昭和50年 文部大臣表彰を受ける。

交通安全・・・自転車練習 分団での集団登校 災害対策・・・避難訓練 救急法 安全点検 健康安全・・・保健学習 健康記録カード 体力づくり
--

◇校 章

外側・・・桜の花びら

中の二重線・・・カタカナでクロエ

中 心・・・小学校の小

